

施工及び管理業務、改修工事、店舗、在宅介護改修工事に至るまで

不動産業務や設計業務はある程度一人でも進めていけますが、実際に「創る」という業務を完成まで導くことは一人では成立しません。10ページ記載ののスタッフ一覧を見ていただいてもわかるように、

新築戸建てに関わる専門業種だけでもおおよそ30社以上、実際に現場で働いてもらう職人さんの数で言えば50人以上が入れ替わり立ち代わり現場に入入りするようになります。そのスタッフみんなをまとめるのが当社の役割になります。おおよそほとんどの施工会社では、お客様の声を受け取った窓口の担当から実際にその声をカタチにする現場の職人までの間に、何人もの人と場合によってはいくつもの会社を介して伝達されていきます。それが「分業制」というものです。当社はそれがほぼなく、最短のルートで職人に届



くこととなります。お客様と職人の間に存在する人と会社は当社のみだからです。それは住宅や店舗などの改修工事と同じです。現場をよりスムーズに間違いのない段取りを進めること。その

為に「おいしいおうち」というチームが必要なんです。また当社は行政の「介護保険住宅改修受領委任払い取扱業者」としても登録しています。世代を越えてつないでいける住宅(Uriversal Design)を創ること。これからの時代「暮らしのカタチ」を創ることを生業としている以上、この考え方は最も大切な軸として捉えています。その為に「最後を迎えることの出来る家」という視点を持ちながら家創りに関わってきています。そんな考えの中から「在宅介護」を必要とされる方にも寄り添っていきたいと思い、手摺取付やスロープ、トイレ改修なども行っています。様々な想いに応えらえる準備は整っていますので、お気軽にご相談ください。

擁壁・地下車庫など造成工事から外構、造園などエクステリア工事全般

お客様はほぼこの事実は知らないと思います。大手ハウスメーカーも含め、一般の施工会社のほとんどは「外構工事」や「造成工事」を直接請負わないという事を。不思議なことに「建築会社」の建築工事請負契約の中に「外構工事」は含まれていないのです。その理由はいろいろな面が含まれるのですが、全て業者側の事情であって、消費者側にたつて配慮されている業態ではないのです。お客様の視点で言えば、自分が望んだ家の完成した姿には当然駐車場も門扉もフェンスもアプローチ階段も外灯も宅配ポストも植栽も描かれているはずなのに……です。

そう言われれば、家は完成しているけど外構などが何も出来ないのに引越しされている家を見たことはないですか？「暮らしのカタチを創る」ことすべてに関わることを生業としている当社では当たり前の様に最初の予算計上からこの外構工事は計画に入ってきます。当然実際に工事をまとめるのも当社です。何より、一番最初プランニングに入る段階で当社は外構のイメージから入っていきます。道路から玄関に入るまでのアプローチ、その風景、家の中から見える景色。内と外を繋げることから生活動線や視線も考えていく当社にとって外構を抜きにして計画を始めることがそもそも無理なんです。当社がエリアの中心とする横浜は街全体が起伏にとんでいて道路や隣地との高低差も激しい立地が多く存在しています。そのことによって「擁壁」や「地下車庫」などの造成工

事を前提に考えないと家を建てることも出来ない敷地も多くあります。そういう立地もトータルで取りまとめ、お客様の予算の中に希望されているカタチが入っていくのかをまとめていくのが当社の役割です。

